



# 第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標

気づき・考え・挑戦する ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1  
TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>  
相談室 TEL048-461-6698

令和7年6月3日発行

## 「体育祭を終えて」

校長 鈴木

6月の時候のあいさつでは、「深緑」、「青葉若葉」、「梅雨」、「梅雨寒」、「向夏」が使われます。本校の校庭などを見てみると、「青葉若葉」、「深緑」のとおり、木々は緑深く一層生い茂って、木々や草花が生き生きとしています。そして「梅雨」、「向夏」を感じさせてくれたのが、体育祭でした。当初の予定では、5月30日に開催予定でしたが、雨天のため延期となりました。予備日として迎えた6月2日は、一転して体育祭日和を通り越して、暑い1日となりました。時候のあいさつで示されている状況を肌で感じる事ができる日々となりました。本番では、熱中症も心配されましたが、最後までやり切ってくれました。事前準備から当日の運営、後片付けにいたるまで、様々な場面で、生徒の皆さん、先生方、保護者の方々には、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、いちょうの会に買っていただいたテントが、今年度も設置されました。重ねて、御礼申し上げます。



学校行事である体育祭の目的は、「心身の健全な健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上に資するような活動を行うこと」です。これを踏まえ、今年度の本校体育祭のスローガンは、「五團伍色(ごだんごしょく)～輝く主役の色となれ～」です。体育委員会の生徒たちで考え、多様な考え



や個性を尊重する想いから決定したものです。また、「伍(ご)」には数字以外に「仲間」などという意味もあります。体育祭では、5色の団が競い合います。団は違えど全員が仲間であり、一人ひとりが輝く主役であってほしいという想いが込められているそうです。大変、素晴らしい考え方だと思いました。

勝負なので、勝敗が付きます。順位や回数といった結果については、時の運もあるかと思いますが、生徒が精一杯努力した成果です。大いに誉めていきたいと思えます。もっと大事なものは、結果が出る、出ないに関わらず、今までの取組をクラスで認め合うことです。先頭に立ってクラスを引っ張った体育委員、クラスで中心となってくれた生徒、優しい声かけをしてくれた生徒、一生懸命に取り組んだ全員の生徒など。生徒は、いろいろな頑張り方をしました。結果よりも、今までの練習の過程が重要です。まずは、失敗を認めてあげる雰囲気クラスにしてほしいと思えます。「思いやり」を持った発言、行動ができるようになることが、自身の成長にもつながるはずですよ。

「弧掌鳴難(こしょうならしがたし)」ということばがあります。意味は、一般的に、「片方の手のひらだけでは、手は鳴らない。人は一人だけでは何もできない、事を成し遂げることもできない。」という意味です。人間、誰しも協力しながら生きていく、協力して物事に対処していきます。体育祭も、クラス、学年、学校の生徒、先生方、保護者の方等、多くの人々がいたからこそ実施できました。今回の体育祭で学んだことを次回の行事でさらに高めてほしいと思えます。